



あなたでも彼でもなく
この世界と自分自身に抗議する。

福間健二監督作品

岡山の娘

My Dear Daughter of Okayama

西脇裕美 家ノ上美春 石原ユキオ 季羽和喜 入海洋一 東井浩太郎 岡本文子

佐藤盛一郎 三原真 真砂豪 杉本克敬 吉野晶 橋本アリサ 北川透(特別出演)

脚本・監督=福間健二 撮影=大西一光 音楽=吉田孝之 編集=福間雄三 詩=三角みつ紀・東井浩太郎・福間健二 宣伝=ペーパーバック

製作=tough mama・岡山映画祭実行委員会・幻野映画事務所 配給=tough mama 2008年/日本/HD撮影/カラー/92分

詩人福間健二がつむぐ世界と映画への新しいヴィジョン。

未来への視界をさえぎられ

疲労のなかにうづくまる世界にむかって発信する

日本の地方都市岡山の、ひとりの娘の夢と現実、ひと夏の経験。

もうこれ以上することはない／と会う人みんなが言った／2007年夏、岡山。
ヒロイン、小川みづき。岡山大学農学部の学生で、母との二人暮らしだったが、その母が借金を残して亡くなった。彼女のまわりには、小説家志望の友人智子、詩人バルカン、喫茶店をもつ水野照子がいる。みづきは大学をやめ、シナリオを書く青年啓介と出会い、小学校の先輩さゆりと再会する。みづきが青果市場で働きだしたころ、会ったことのない父立花信三がヨーロッパから帰ってくる。信三を受け入れられず、どうしていいかわからなくなるみづき。謎の男に見つめられる啓介。新しい恋をするさゆり。小説を書く智子。暑い夏がつづく。やがてみづきに、公園のベンチで信三の横にすわるときが訪れる……。



あなたの窓が閉ざされているから
わたしは目を閉じて
自分の体が入る箱を想像した
ゆうぐれの
川べりに立ち
自分を入れて流れてゆく箱を想像した
その箱は流れていって
夜の人々は迷路に消えて
わたしもいなくなって
いま
この空に
炸裂して光るもの
ほかに何を見るのだろう
あなたの目
魂の窓
それがひらかれるとき
わたしは帰ってくる
むかしのわたしとはちがう
わたしの知らないだれかになって



西脇裕美、家ノ上美春、石原ユキオ。
オーディションで選ばれた岡山の娘たちが
体当たりで魅力を爆発させる
リアルライフ＋ファンタジー。
生きる。傷つく。誘惑する。
サイレント映画の時代からデジタル・ビデオの
今日までの時間を突き抜けて
未知の場所へと踏み込む映像の冒険。

福間健二 1949年、新潟県生まれ。69年、16ミリ作品「青春伝説序論」を監督。同時に詩を書きはじめる。95年、「急にたどりついてしまう」を監督。詩集に「地上のぬくもり」「きみたちは美人だ」「侵入し、通過してゆく」、現代詩文庫「福間健二詩集」など。首都大学東京教授。

岡山の娘 ©2008 tough mama <http://d-mc.ne.jp/blog/musume/>

2008年秋、レイトショー

特別鑑賞券1,300円(税込) 好評発売中!

当日料金:一般1,500円/学生1,300円/シニア1,000円(すべて税込)



ポレポレ東中野

TEL 03 3371 0088

www.mmjp.or.jp/pole2/

JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分

地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

